
天国

タケノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天国

【Nコード】

N3578I

【作者名】

タケノコ

【あらすじ】

死期の迫った囚人は、常々考えていました。（数々の犯罪を犯してきたが、地獄には、絶対に行きたくない）と。そんな、死期の迫った彼のそばに舞い降りたのは……

第1話 一日目

ここは、刑務所内。そこで、犯罪者ゾンが自身に死期が迫っているのを薄々感じていました。

（俺は数々の悪行を働いてきたが、地獄にだけは、絶対に行きたくない！）

犯罪者ゾンは常々そう考えていました。

・

刑務所のベッドの上。ゾンは朦朧とする意識の中、羽の羽ばたく音を耳にしました。

（どうせ、悪魔か死に神だろう）

そう考えたゾンでしたが声にならないような小さな声で――

「あなたは……誰ですか？」

そう、尋ねました。

すると相手の口からは――

「私は天使です。天国にお連れしに参りました」

犯罪者ゾンは自身の耳を疑いました。ですが目に映る天使にはやましそうな様子も無く、誠実な印象を受けました。

「……本当に天国なの……か？なら、私を天国に連れて行って欲しい」

そう願いました。

「もちろんです。さあ、旅立ちの時間です……」
と天使が言葉を発するとゾンは息を引き取りました。

・
・
・

「ここが天国!？」

ゾンは、自分の目を疑いました。

犯罪者の眼前に広がっているのは荒れ果てた大地とそれを開墾する死者達の姿でした。

連れて来た、天使に詰め寄るゾン。

「どこが天国なんだ!？あるのは、荒れ果てた大地だけではないか
!！」

それに、対し天使は――

「これから、新たな天国になるのですよ。あなた達の手によって」
そう天使は言いました。

{つづく}

第2話 二十年後

ここは、犯罪者ゾンが連れて来られた天国。

ゾンが連れて来られてから早くも二十年の月日が流れていた。

ここの様相も様変わりし、住宅が出来、町が出来、徐々に現世に近づきつつありました。

そこにゾンを連れて来た一人の天使が舞い降りました。

ここは、小さな居酒屋。

「毎度、ありがとうございます！」

そう言ったのなんとあのゾンでした。

ガラガラと開く戸口。上がる暖簾。

ゾンが――

「へい、らっ、！！。アンタ……いや、あなたはいつぞやの天使さん！！」

「元氣そうで、なによりです」

天使はそう言いました。

奥の個室に案内された天使は特異な靴を脱ぎ自身の白い二枚の羽を消し六畳一間の部屋に座りました。

「いやー、待たせちゃってすんません。客足が絶えないもんで。こ

れも天使様のお陰です」

それに対し、天使は――

「それはなによりです」

「今回、こちらに天使さんが足を運んだのはどういった御用件で？」

天使に問い掛けるゾン。

「その前に一つだけお聞きしたい、あなたはここの暮らしに満足していますか？」

破顔一笑のゾンは――

「もちろんです！生前出来なかった店を持つことも出来たし、女房だってもらえたんだ」

「そうでしたか、それは喜ばしい。ところで私がここに来た理由ですが、現世にて赤子から再出発するきはないか？ということですから、思案するゾン。

「……うーん。いや、俺にはここの生活が合っていると思うんだ。だから天使さんには悪いけど……」

「そうですか……」

残念そうな顔をする天使に申し訳なく思ったのかゾンは――

「一番高い料理持って来てー」

と個室の戸口を開けてそう言いました。

それから、天使は大変な歓待を受けました。

・
・
・

ここは、空中。空を飛ぶ天使は残念そうな顔でこう言いました。
「ゾンもダメでしたか……これで、百人連続です」 もともと、地獄に送る者を仮の天国に連れていき、生活させ、幸福を味合わせ（天使が幸福にさせる）た後に現世へというのが本来の目的だった。

というのも、地獄に行った者は狂い現世には連れていけず、天国に行った者は極楽浄土から離れたがらなかった。そこから発案されたのが地獄行きの者を現世に類似した幸福を与え、生まれ変わらせようと考えられたものだったのだが……

「魂の数には、限りがあるのに……世の中上手くいかないもんですね……」

と天使も独り言。

{おしまい}

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3578i/>

天国

2010年10月10日21時39分発行